

会長就任あいさつ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏



この度、平成 27 年 5 月 30 日に開催された、第 4 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会において 2 期目に選任されました。

日本診療放射線技師会と都道府県診療放射線技師会の役割について考えてみます。

〈日本診療放射線技師会〉

- ・国民の公衆衛生の向上および国民健康保健の維持発展に寄与するための法改正や制度改革
- ・ガイドライン作成などの制度の構築および改革
- ・日本診療放射線技師会としての理念の周知
- ・その他

〈都道府県技師会の役割〉

- ・講習会の開催。大病院だけではなく、個人病院の技師も参加できるような配慮が必要
- ・研究会の育成。全ての講習会を技師会で行う必要はなく、研究会を立ち上げ、機動力と企画力を高めることで、活発な講習会活動が期待できる。この場合、技師会はその研究会の共催や後援になることが必要
- ・会員の育成。講習会の講師は自前で開催できるように育成する
- ・地方公共団体と協力した公益事業。地方自治体が主催するイベントへの参加。学校教育へ協力
- ・役員の資質の向上。役員の作業能力、自立、統率力を育成し、職場においてリーダーシップ的な存在として活躍する人材の育成
- ・その他

都道府県技師会は全国組織である日本診療放射線技師会と比較し、小回りが利くことから、思考を凝らした企画が可能です。さらに、研究会などでは、自由な活動という利点を生かし、きめ細やかな企画も可能です。県の事業、支部事業、研究会事業とそれぞれの利点を生ずる区画をすることにより、面白い企画が生まれてくると思います。そして、成功事例は、日本診療放射線技師会へ報告し、全国都道府県に紹介していただくことが望ましいと考えています。

都道府県技師会は人材育成も重要な役割です。企画は技師会、講師は外部ではなく、講師は原則内部の会員を採用することが大切です。最初はおぼつかない講師でも、10 年もすれば立派な講師となります。今、埼玉から全国で活躍している講師も、同じように先輩たちから育成していただきました。

そして新たな人材を推薦することも必要です。企画者の周囲の人だけを、講師や実行委員にするのではなく、他薦自薦がしやすいような雰囲気も必要です。

最後に、埼玉は、他県よりも若い理事で構成されています。企画力や行動力という面では非常に優れていますが、社会経験に乏しく、書類作成や仕事の段取り、交渉力に関しては未熟な部分もあります。それらを、組織力でカバーをしながら自ら成長し、活動してまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

役員就任あいさつ

副会長



堀江 好一

JCHO さいたま北部医療センター

今期、理事として選任され、引き続き副会長を務めさせていただくことになりました。本会は平成24年4月に公益社団法人となり4年目を迎えました。そして、昨年からは田中会長が新会長に就任され、前任の小川会長の会務を踏襲しながらも新しいエッセンスを次々に注ぎ込んでいます。若く前向きな田中会長を見ていると、社会人は経験年数や年齢で評価されるべきものではないことをつくづく感じます。今期もさらに田中会長はじめ理事のサポート役としてお仕えしたいと思います。

理事としては最古参となりますが、気持ちだけは若々しく、「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップされないよう会務に励んでいきたいと思っております。2年間よろしくお願い致します。

副会長



富田 博信

埼玉県済生会川口総合病院

埼玉県診療放射線技師会、副会長をおおせつかりました富田博信です。今期においても副会長という大役ではありますが、田中会長をサポートし、会員の皆さまにメリットの大きいと思われるような、技師会を目指して参りたいと思っております。また平成28年度には大宮ソニックシティーにて関東甲信越学術大会の開催を予定しており、役員一同成功に向けて万全を期して、進めて参りたいと存じます。引き続き、埼玉県診療放射線技師会会員の皆さまのために、精一杯がんばりたいと思っておりますので、何分至らない点は多々あると思っておりますが、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

常務理事（総務）



平野 雅弥

埼玉医科大学病院

昨年度に引き続き、今年度、来年度と総務を担当させていただくことになりました。昨年6月より約1年間総務担当として務めさせていただき、諸先輩方が今まで行ってきた各事業の重要性を知ることができました。これからも引き続き、役員や会員の皆さまの協力を得ながら必要な事業は継続し、また新たな企画にも取り組めればと考えております。総務の仕事内容としては田中会長をサポートし公益社団法人としての各事業が滞りなくスムーズに行えるよう整備をすることが最も重要な責務だと考えております。今後も会員の皆さまにお役に立てるよう、さまざまな企画を通じて努力して行く所存ですので、よろしくお願い致します。

常務理事（総務）



結城 朋子

埼玉県済生会川口総合病院

平成 27 年度新役員として総務を担当することとなりました。これまでの数年間は財務を担当しておりました。お金の管理はそれなりに大変ではありましたが、自分のペースで進めていかなければなりません。しかしながら総務は会の運営に関わる業務でスケジュール通りに進めていかなければなりません。会の裏方の仕事ですが、なくてはならない存在です。今までの歴代総務担当者の仕事を振り返っても、今の自分に務まるかどうかやや不安ではあります。しかしながら同じく総務担当の平野常務理事の指導のもとご迷惑のかからないよう努めていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

常務理事（財務）



潮田 陽一

埼玉医科大学総合医療センター

今年度から財務を担当いたします潮田です。

人生の中で会の財務を担当することは、今後おそらくないと思ひます。そのような貴重な経験をさせていただくことと、今までの編集・情報委員会で勉強させていただいたことに感謝をし、また編集・情報委員会でのノウハウを生かし、公益法人としてだけでなく、一法人として健全な財務状況になるよう努めていきたいと思ひます。

常務理事（学術）



今出 克利

さいたま市民医療センター

学術担当理事を平成 24 年度より 2 年間、学術常務理事を平成 27 年度より 1 年務めさせて頂き、今期も継続して学術常務理事を担当させていただくことになりました、さいたま市民医療センターの今出です。埼玉県診療放射線技師会会員の皆さまのお役に立てよう、学術委員と一丸となって頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

常務理事（編集・情報）



八木沢 英樹

JCHO 埼玉メディカルセンター

この度、編集・情報常務理事を務める事となりました JCHO 埼玉メディカルセンター 八木沢です。編集・情報理事を2期務めての常務理事です。前任の潮田さまのようにまとめていけるか不安ではありますが、精一杯自分なりに頑張っていく所存です。

編集・情報の仕事は大きく分けて二つあります。一つはホームページです。公益情報・勉強会・研究会などの情報を迅速に発信し会員または一般の方にも埼玉県診療放射線技師会を広く知っていただくツールとしています。もう一つは会誌（埼玉放射線）です。公益情報・学術大会報告・セミナーなど掲載しております。なお一層、会員が興味を惹くものを充実させて参ります。会員の皆さまあつての編集・情報ですので、ご意見などございましたらお気軽にご連絡ください。

常務理事（公益）



佐々木 健

上尾中央総合病院

こんにちは、今期も公益常務理事を務めさせて頂く事となりました、上尾中央総合病院 佐々木健です。公益とは「社会一般の利益・公共の利益」とありますが、我々、診療放射線技師会にとっての社会一般の利益とは何でしょうか？厚生労働省の掲げる安心の医療から見れば、被ばく相談と検査説明に他ならないと考えられます。今年度は、この二つを柱として公益事業を展開していく所存ではありますが、こちらから一方的に行うのではなく、常に求められているものが何なのか、模索しながら進んでいきたいと考えています。理事、委員ひいては会員皆さまのお力添えがあつて成り立つものだと思っております、ご協力お願い申し上げます。以上をもって挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

理事（学術）



栗田 幸喜

済生会栗橋病院

前期に引き続き学術理事を務めさせて頂くことになりました。精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

ご存じのように埼玉県診療放射線技師会の学術関連の業績は素晴らしく、皆さまのご尽力によってさまざまな事業が行われています。多くの会員の方々に参加していただけるように、またご意見をいただきながらますます充実・発展していければと思いますので、皆さまのご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

理事（学術）



城處 洋輔

埼玉県済生会川口総合病院

平成 21 年より学術委員として本会の運営に携わり、今期も引き続き理事を務めさせて頂くことになりました。技師会活動を通じさまざまな施設や他職種の方々と交流する機会が増え、とても充実した日々を送らせて頂いております。近年の診療放射線技師を取り巻く環境は厚労省医政局長通知の『読影の補助』や、診療放射線技師法一部改正による『業務拡大』など刻々と変化しています。埼玉県の会員の皆さまが何を求めているのかを意識し、常にアンテナを広く張ることで有益な情報の共有や新しいことを積極的に企画することで、学術事業の更なる活性化に努めていきたい所存であります。至らない点もあるかとは思いますが、皆さまと一緒に研鑽していきたく思いますので、よろしくお願い致します。

理事（学術）



岡田 智子

さいたま赤十字病院

平成 27・28 年度の理事を務めさせていただきます。さいたま赤十字病院岡田智子と申します。5 年間学術委員として活動させて頂いておりましたが、今回はじめて埼玉県の理事となり、身の引き締まる思いです。埼玉県診療放射線技師会は尊敬する先輩方が積み上げてきた歴史があります。その歴史に恥じない活動をしていきたいと強く思っております。若輩者の私を推薦して下さった諸先輩方がっかりさせないよう、またまだまだ未熟な点が多く、これからさらに勉強させていただく身ではありますが、精一杯会員のため、さらには一般の方のために頑張りたいと思いますので、何卒よろしくお願い致します。

理事（編集・情報）



清水 邦昭

深谷赤十字病院

今期、編集・情報委員会の副委員長をさせていただきます深谷赤十字病院の清水邦昭と申します。昨年までの 2 期を委員として活動させていただき、会誌の校正や会のホームページのアップ、ホームページの外部委託について携わって参りました。今期は理事として八木沢常務理事のお手伝いできれば良いと考えております。

会誌やホームページについてのご意見や感想などございましたらお知らせくだされば、できる限り対応させていただこうと思っております。

最後になりますが、まだまだ未熟で至らない点多々あると思っておりますので、皆さま方からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

理事（公益）



芦葉 弘志
丸山記念総合病院

会員の皆さま、埼玉放射線を購読の皆さま、こんにちは。
この度、役員選挙ならびに理事会において、平成 27・28 年度公益担当理事に新任されました芦葉です。

公益担当としましては、継続開催の埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布、各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定、ホームページからの被ばく相談、放射線特別授業などをしっかり取り組んでいきます。

これらの企画を通して一人でも多くの方に放射線の安全について知っていただき、安心した放射線診療が受けられるよう努力していきます。また会員個人や県民にとって親しみのある埼玉県診療放射線技師会となるようにしていきたいと思っております。

理事（総務）第一支部



双木 邦博
さいたま市立病院

この度、平成 27・28 年度の 2 年間第一支部理事を務めることになりました、さいたま市立病院中央放射線科 双木邦博（なみき く にひろ）です。

今回で理事 5 年目となります。前期より少しは埼玉県診療放射線技師会のお役に立てるよう努めて行きます。

毎年、勉強会の企画に地区の役員と悩みながら作っています。第一支部会員に少しでも役に立つ企画になっていたでしょうか。勉強会企画の提案を少しでも広く受け入れていきますので、役員および会員のみなさまのご提案をお待ちしております。

また他支部と合同勉強会や講師、座長などを相互に交流して親好を深めて行きます。

第一支部役員、会員の皆さまのお力をお借りして、第一支部を盛り上げていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

理事（総務）第二支部



大西 圭一
所沢ハートセンター

第2支部理事を担当させて頂く大西と申します。

支部理事に与えられているミッションは、「入会促進」「地域の活性化」「人材育成」だと考えています。第2支部では他支部の皆さまに助けられながら、積極的に若手を演者、座長として起用しみんなで成長できる会です。支部理事とは任期の2年間のルーチンをこなすのではなく、過去から学んだことを活かしより良いものを作ろうとする企画と行動する意識が大切だと思います。

第二支部の年間勉強会参加人数は平成25年度761名、平成26年度679名でした。前年度より多くの方にご参加して頂けるよう役員一同企画作りしていきたいと考えています。また地域で頑張っている役員同士が交流できるような企画も考えております。

非常に頼りになる役員とともに第二支部を盛り上げていきたいと思っております。

第二支部の代表として県技師会に貢献できるよう務めさせて頂きますのでよろしくお願い致します。

理事（総務）第三支部



渡部 進一
埼玉医科大学病院

この度、第三支部理事に就任した埼玉医科大学病院の渡部進一です。

昨年度から支部理事を仰せつかったのですが、分からないことばかりで前任の理事からご指導をいただき無事に1年間終える事ができました。

今年度からは他支部と合同企画が予定されています。地区内だけではなく、外部にも交流を深めていこうと思っておりますので会員の皆さまのご参加をお待ちしています。また地区会員の皆さまからのご助言とご協力を仰ぎ、地区役員と共にさまざまな企画をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

理事（総務）第四支部



齋藤 幸夫
深谷赤十字病院

この度、平成27・28年度の第四支部理事を務める事となりました深谷赤十字病院の齋藤幸夫です。

埼玉県の約半分からなるこの支部の会員に声をかける事は非常に大変ですが、役員や諸先輩方、会員の皆さまの努力と頑張りで、昨年度は充実した活動を行うことができ、感謝しております。また前回の会誌よりスタートしました「ぶらり四支部の旅」では、不定期ではありますが、埼玉県北部の情報をお届けしたいと考えておりますので、楽しみにお待ちしております。

本年度も魅力ある勉強会、公益活動などを企画し盛り上げていこうと思っておりますので、引き続き皆さまのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

理事（総務）第五支部



矢崎 一郎
春日部市立病院

今期も理事を務めることになりました。

支部理事を引き受けるようになってから、会員の皆さまに何かできないかと思いつながら長い時間が過ぎてきました。（自身、大分多くの時間を無駄に過ごしているようにもおもえますが・・・すみません）

今期もいろいろなご案内ができるようにと思っています。多くの皆さまのご参加をお願いします。

前回よりも今回がよくなるように頭をフル回転させていくつもりですので、これからもご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

理事（総務）第六支部



高嶋 豊
丸山記念総合病院

この度、第六支部理事に就任いたしました丸山記念総合病院の高嶋と申します。

私は常日頃、人の関わり・信頼関係をとても大切に感じております。仕事を行う上で一人の力ではやはり限界があり、たくさんの人力はとて大きな力になる事を実感してきました。今回理事を務めさせていただく上でも大切にしていきたいと思っております。たくさんの方にお力をお借りするかと思いますが、技師としての経験や地区活動の経験を生かし第六支部の成長に力を注いでいきたいと思っております。そして少しでも技師会に貢献できるよう努めさせていただきます。

監事



橋本 里見
JCHO 埼玉メディカルセンター

この度、顧問を辞任し監事に就任することとなりました。田中会長から顧問の要請があった時は相談役のような形で顧問をお願いされましたが、監事というと理事の職務の執行を監査し、業務および財産の状況の調査をするという重要な職務となります。年齢および社会経験の未熟な私が務められるか不安ですが、今までの埼玉県診療放射線技師会役員歴 20 年の経験を基に歴代監事に恥ずかしくないよう努めて参る所存です。よろしくお願い致します。

監事



鈴木 正人
埼玉県県会議員

この度、監事に再選されました。医療に関しては専門分野外ですが、行政や市民団体、県民とのパイプ役として本会のお役にたてればと考えております。よろしくお願い致します。